

決算報告書

第5期

自 2022 年 10 月 1 日

至 2023 年 9 月 30 日

公益社団法人 日本新生児成育医学会

財産目録

2023年9月30日現在

公益社団法人 日本新生児成育医学会
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
三菱UFJ銀行普通預金（一般会計）	20,161,889		
三井住友銀行普通預金（学会賞基金）	4,112,638		
りそな銀行普通預金（総会補助金）	13,897,701		
埼玉りそな銀行普通預金（第67回学術集会）	42,557,044		
郵便局振替口座	48,708,142		
		129,437,414	
未収会費			
2023年度分年会費	2,884,000		
2023年度分評議員会費	72,000		
		2,956,000	
流動資産合計			132,393,414
資産合計			132,393,414
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
通信費等	15,196		
事務局費	687,500		
公認会計士委託費	99,000		
		801,696	
前受収益			
第67回学術集会	37,557,044		
2023年度以降会費	72,000		
		37,629,044	
未払法人税等	70,000		
		70,000	
未払消費税等	840,200		
		840,200	
流動負債合計			39,340,940
負債合計			39,340,940
正味財産			93,052,474

貸借対照表

2023年 9月30日 現在

公益社団法人 日本新生児成育医学会

(単位:円)

I 資産の部

【流動資産】

現金及び預金	129,437,414	
未収会費	2,956,000	
流動資産合計		132,393,414
資産合計		132,393,414

II 負債の部

【流動負債】

未払金	801,696	
前受収益	37,629,044	
未払法人税等	70,000	
未払消費税等	840,200	
流動負債合計		39,340,940
負債合計		39,340,940

III 正味財産の部

正味財産合計		93,052,474
負債及び正味財産合計		132,393,414

正味財産増減計算書

自 2022年10月1日
至 2023年9月30日

公益社団法人日本新生児成育医学会

(単位：円)

I 一般正味財産増減の部

[経常収益]

【受取会費】

年会費収入	30,056,000	
代議員会費収入	1,960,000	
		32,016,000

【事業収益】

セミナー事業収入	554,571	
広告掲載料収入	772,000	
論文掲載収入	351,150	
学会誌文献利用収入	150,634	
協賛金	640,910	
学術集会参加費収入	21,793,273	
共催セミナー開催料収入	20,563,637	
展示出展料収入	15,909,091	
印税収入	136,730	
		60,871,996

【受取補助金等】

地方公共団体助成金収入	2,133,000	
民間助成金収入	500,000	
		2,633,000

【受取寄付金】

寄付金収入	400,000	
		400,000

【雑収益】

受取利息	704	
雑収入	781,710	
		782,414

経常収益 計

96,703,410

[経常費用]

【事業費】

事務局委託費	7,102,500	
学術集会事務局費	34,972,078	
旅費交通費	2,561,501	
通信運搬費	224,411	
消耗品費	181,431	
会議費	817,824	
海外交流費	1,000,000	
印刷製本費	6,186,980	
支払助成金	921,819	
表彰関連費	400,000	
支払報酬	559,111	
賃借料	22,310,757	
諸謝金	1,960,181	
租税公課	4,051,176	
諸会費	200,000	
支払手数料	839,329	
雑費	624,592	
		84,913,690

【管理費】

事務局委託費	397,500	
会議費	1,066	
旅費交通費	33,650	
通信運搬費	12,219	
消耗品費	43,273	
支払報酬	28,996	
支払手数料	3,138	
租税公課	226,791	
		746,633

経常費用 計

85,660,323

当期一般正味財産増減額

11,043,087

法人税、住民税及び事業税

△ 70,000

一般正味財産期首残高

82,079,387

一般正味財産期末残高

93,052,474

個別注記表

自 2022年10月1日
至 2023年9月30日

公益社団法人 日本新生児成育医学会

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当なし
- (2) 棚卸資産の評価方法
該当なし
- (3) 固定資産の減価償却の方法
該当なし
- (4) 引当金の計上基準
該当なし
- (5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
消費税課税事業者該当。
消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

以上

公益社団法人日本新生児成育医学会
2023 年度事業報告書
(2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日)

【目的】

新生児医療の向上、発展をはかるとともに新生児学の研究を促し、会員相互の交流を促進し、新生児医療の充実を通じて、子どもの健康、人権および福祉の向上、さらにこれらを社会へ普及啓発することを目的とする。

【事業】

上記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ①新生児医療の研究および振興を目的とする事業
- ②新生児医療に携わる医療者の教育および専門性の向上を目的とする事業
- ③新生児医療に関わる改善を目的とする事業
- ④新生児医療の社会への普及啓発および還元を目的とする事業
- ⑤国内外の関係団体との協力活動を目的とする事業
- ⑥その他前条の目的達成するために必要な事業

【個別の事業】

1. 機関誌

日本新生児成育医学会雑誌第 34 巻 3 号を 10 月、第 35 巻 1 号を 2 月、35 巻 2 号を 6 月に刊行した。

2. 学術集会

第 66 回日本新生児成育医学会・学術集会を 2022 年 11 月 24 日（木）～26 日（土）パシフィコ横浜 会議センターにて、長谷川久弥（東京女子医科大学附属足立医療センター 新生児科）会長主宰により開催した。

3. 医学生・研修医向け NICU 入門セミナー

医学生や研修医に役立つ新生児医療の最新必須知識の啓発を目的として、第 9 回医学生・研修医向け NICU 入門セミナーを 2023 年 7 月 1 日（土）13:00～18:00 にオンライン開催をした。

4. 教育セミナー

若手医師の臨床能力と臨床研究能力の向上、ならびに中堅医師への指導者教育を目的として、第 26 回教育セミナーを 2023 年 8 月 19 日（土）～21 日（月）静岡県総合コンベンション施設 Plaza Verde で開催した。

5. Web コンテンツ

新生児科医を目指すすべての医師へ学びの提供として、web セミナーを 2023 年 1 月 30 日（月）18：00～19：00、2023 年 6 月 26 日（月）18：00～19：00 に開催した。

6. 委員会

本会が目的とする事業を達成するため、調査研究、学術集会・セミナー等の開催、機関誌の発行、関係機関に対する要望・協議、新生児医学・医療に関する情報発信、提言作成、その他について検討を行い、併せて組織の見直しを図るため、委員会・会議を開催した。

1. 総務委員会
2. 学会将来構想委員会
3. 男女共同参画推進委員会
4. 広報委員会
5. 災害対策委員会
6. 国際渉外委員会
7. 学会誌編集委員会
8. 教育委員会
9. 学術委員会
10. 医療安全委員会
11. 産科医療補償制度対応委員会
12. 倫理委員会
13. 利益相反委員会
14. 感染対策予防接種委員会
15. 診療委員会
16. 社会保険委員会
17. 薬事委員会
18. 医療の標準化委員会
19. 医療の質向上委員会
20. 調査研究審査委員会
21. フォローアップ認定医制度委員会
22. 用語委員会

7. 他団体との協議

本会の目的達成のため、国・官公庁、国内外の医学・医療関係団体との協力、協議を行った。

8. 表彰

日本新生児成育医学会賞、学術奨励賞の選出を行った。2024年度の学術集会にて表彰を行う。また、若手新生児科医フェローシップ事業対象者の選出を行った。

9. 理事会

以下の通り開催した。

- | | | |
|----------------|-------------|--|
| 2022年11月24日(木) | 18:00~18:10 | パシフィコ横浜 会議センター1階
「第1会場 メインホール」(神奈川県横浜市)にて開催 |
| 2023年1月26日(木) | 18:00~21:00 | Web会議システム zoom を利用 |
| 2023年5月15日(月) | 18:00~20:30 | Web会議システム zoom を利用 |
| 2023年8月7日(月) | 18:00~21:00 | Web会議システム zoom を利用 |

10. 総会

2022年11月24日(木)16:30~18:00に定時社員総会を実施し、2022年度決算、ほか議案について審議した。

以上

資金調達及び設備投資の見込みについて (2022年10月1日~2023年9月30日)

1. 資金調達の見込みについて

当期中に資金調達の見込みはありません。

2. 設備投資の見込みについて

当期中の設備投資の予定はありません。

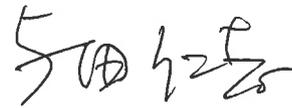
以上

監査報告書

2023年10月20日

公益社団法人日本新生児成育医学会
理事長 高橋尚人 殿

監事



私は、公益社団法人日本新生児成育医学会の2022年10月1日から2023年9月30日までの第5期事業年度の業務及び財産の状況について監査を実施いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な関係書類の閲覧等を行って、業務および財産の状況を調査いたしました。

また、事業報告書並びに会計帳簿の調査や関連する証憑書類の査閲等を行い、当該事業年度に係わる計算書類、すなわち貸借対照表及び正味財産増減計算書、財産目録について監査を実施いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関して、不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類は、当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

監査報告書

2023年10月26日

公益社団法人日本新生児成育医学会
理事長 高橋尚人 殿

監事 中村 反彦 

私は、公益社団法人日本新生児成育医学会の2022年10月1日から2023年9月30日までの第5期事業年度の業務及び財産の状況について監査を実施いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な関係書類の閲覧等を行って、業務および財産の状況を調査いたしました。

また、事業報告書並びに会計帳簿の調査や関連する証憑書類の査閲等を行い、当該事業年度に係わる計算書類、すなわち貸借対照表及び正味財産増減計算書、財産目録について監査を実施いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関して、不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類は、当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

収支予算書内訳表

2023年10月 1日から2024年 9月30日まで

公益社団法人日本新生児成育医学会

(単位：円)

	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引 等消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受 取 会 費	24,298,510	896,690	0	25,195,200
正 会 員 受 取 会 費	22,306,510	896,690		23,203,200
特 別 会 員 受 取 会 費	0	0		0
賛 助 会 員 受 取 会 費	0	0		0
代 議 員 受 取 会 費	1,992,000	0		1,992,000
事 業 収 益	68,698,179	0	0	68,698,179
学 術 集 会 参 加 費 収 益	23,654,544	0		23,654,544
共 催 セ ミ ナ ー 開 催 料 収 益	25,227,272	0		25,227,272
展 示 出 展 料 収 益	16,436,363	0		16,436,363
広 告 掲 載 料 収 益	1,490,000	0		1,490,000
論 文 掲 載 料 収 益	350,000	0		350,000
文 献 利 用 料 収 益	40,000	0		40,000
印 税 収 益	100,000	0		100,000
セ ミ ナ ー 参 加 料 収 益	1,000,000	0		1,000,000
認 定 医 試 験 審 査 料 収 益	400,000	0		400,000
協 賛 金 収 益	0	0		0
受 取 補 助 金 等	500,000	0	0	500,000
受 取 民 間 助 成 金	500,000	0		500,000
受 取 寄 付 金	900,000	0	0	900,000
受 取 寄 付 金	900,000	0		900,000
雑 収 益	444,136	500	0	444,636
受 取 利 息	0	500		500
雑 収 益	444,136	0		444,136
経常収益計	94,840,825	897,190	0	95,738,015
(2) 経常費用				
事 業 費	84,958,158	0	0	84,958,158
会 議 費	4,192,763	0		4,192,763
旅 費 交 通 費	2,747,272	0		2,747,272
通 信 運 搬 費	433,173	0		433,173
消 耗 什 器 備 品 費	0	0		0
消 耗 品 費	1,266,509	0		1,266,509
広 報 費	5,075,323	0		5,075,323
印 刷 製 本 費	7,133,975	0		7,133,975
海 外 交 流 費	0	0		0
表 彰 関 連 費	250,000	0		250,000
渉 外 費	0	0		0
賃 借 料	37,547,791	0		37,547,791
保 険 料	0	0		0
諸 会 費	200,000	0		200,000
諸 謝 金	150,000	0		150,000
租 税 公 課	1,585,200	0		1,585,200
支 払 手 数 料	568,200	0		568,200
支 払 助 成 金	1,060,000	0		1,060,000

収支予算書内訳表

2023年10月 1日から2024年 9月30日まで

公益社団法人日本新生児成育医学会

(単位：円)

	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引 等消去	合 計
支 払 寄 付 金	0	0		0
認 定 医 試 験 費	720,000	0		720,000
支 払 報 酬	568,200	0		568,200
委 託 費	20,954,752	0		20,954,752
雑 費	505,000	0		505,000
管 理 費	0	897,190	0	897,190
会 議 費	0	0		0
旅 費 交 通 費	0	30,000		30,000
通 信 運 搬 費	0	17,490		17,490
消 耗 什 器 備 品 費	0	0		0
消 耗 品 費	0	60,000		60,000
租 税 公 課	0	323,300		323,300
支 払 手 数 料	0	31,800		31,800
支 払 報 酬	0	31,800		31,800
委 託 費	0	402,800		402,800
雑 費	0	0		0
経常費用計	84,958,158	897,190	0	85,855,348
評価損益等調整前当期経常増減額	9,882,667	0	0	9,882,667
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	9,882,667	0	0	9,882,667
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	9,882,667	0	0	9,882,667
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	9,882,667	0	0	9,882,667
一般正味財産期首残高	31,940,102	50,139,285	0	82,079,387
一般正味財産期末残高	41,822,769	50,139,285	0	91,962,054
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	41,822,769	50,139,285	0	91,962,054

公益社団法人日本新生児成育医学会
2024 年度事業計画書
(2023 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日)

【目的】

新生児医療の向上、発展をはかるとともに新生児学の研究を促し、会員相互の交流を促進し、新生児医療の充実を通じて、子どもの健康、人権および福祉の向上、さらにこれらを社会へ普及啓発することを目的とする。

【事業】

上記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ①新生児医療の研究および振興を目的とする事業
- ②新生児医療に携わる医療者の教育および専門性の向上を目的とする事業
- ③新生児医療に関わる改善を目的とする事業
- ④新生児医療の社会への普及啓発および還元を目的とする事業
- ⑤国内外の関係団体との協力活動を目的とする事業
- ⑥その他前条の目的達成するために必要な事業

【個別の事業】

1. 機関誌

日本新生児成育医学会雑誌第 35 巻 3 号を 10 月、第 36 巻 1 号を 2 月、36 巻 2 号を 6 月に刊行する。

2. 学術集会

第 67 回日本新生児成育医学会学術集会を 2023 年 11 月 2 日（木）～4 日（土）パシフィコ横浜 会議センターにて、細野茂春（自治医科大学附属さいたま医療センター副センター長）会長主宰により開催する。

3. 医学生・研修医向け NICU 入門セミナー

医学生や研修医に役立つ新生児医療の最新必須知識の啓発を目的として、第 10 回医学生・研修医向け NICU 入門セミナーを 2024 年 5～6 月に行う。

4. 教育セミナー

若手医師の臨床能力と臨床研究能力の向上、ならびに中堅医師への指導者教育を目的として、第 27 回教育セミナーを 2024 年 8 月に行う。

5. Web コンテンツ

新生児科医を目指すすべての医師へ学びの提供として、Web セミナーを年数回開催する。

6. 新生児成育フォローアップ認定医制度の導入

新生児医療をうけた子どもの成育を、優れた知識と技能をもって見届け、家族への支援を行える医師の育成をし、社会の福祉へ貢献する。

7. 委員会

本会が目的とする事業を達成するため、調査研究、学術集会・セミナー等の開催、機関誌の発行、関係機関に対する要望・協議、新生児医学・医療に関する情報発信、提言作成、その他について検討を行い、併せて組織の見直しを図るため、委員会・会議を開催する。

8. 他団体との協議

本会の目的達成のため、国・官公庁、国内外の医学・医療関係団体との協力、協議を行う。

9. 表彰

日本新生児成育医学会論文賞、学術奨励賞の選出を行い、2024年の学術集会にて表彰を行う。また、若手新生児科医フェローシップ事業を行う。

10. 理事会

理事会を10月、2月、5月、8月に開催する（年間4回以上開催予定）。

11. 総会

2023年11月2日（木）16:30～18:00に定時社員総会を実施し、2023年度決算、その他の議案について審議する。

以上

資金調達及び設備投資の見込みについて (2023年10月1日～2024年9月30日)

1. 資金調達の見込みについて

当期中に資金調達の見込みはありません。

2. 設備投資の見込みについて

当期中の設備投資の予定はありません。

以上